



田園

二月号

聖フランシスコ カトリック田園調布教会

(No.619. 2013. 2. 1) 発行責任者 矢野 勉

☎ 03(3721)7271

〒145-0071 東京都大田区田園調布3-43-1

四旬節の典礼と御言葉

協力司祭イドヤガ・ザベリオ神父



今年の“四旬節”や“御復活祭”は、一般のカレンダーと比べると“お月様の軌道に乗って”、非常に早いテンポで歩むように見えます。

「母なる教会の典礼」も地上に実現する行事だから、お月様の温かい微笑みに包まれて素直に進んでいるのです。

今回、私は“慌ただしく出発した四旬節”について“四旬節の典礼と御言葉”について書きます。

現代の人間の心と四旬節の神秘

私たちは激しくて大きな“変化”の時代に生きています。生活にしても、人間関係にしても、色々な組織にしても激しさと落ち着きの不足を強く感じます。特に先進国の中で。この事実を“毎日の新聞”が生々しく見せつけます。

世間に追いたてられ圧迫され、慌ただしさの奴隷とならないように、少しでも人間らしく生きていきたい人々には、余裕をもって過ごすために、個人的にも、社会的にもゆっくり“息を吸って”考える時間が明らかに必要です。

「自由」という言葉が頂点になっているこの時代に、鋭敏な庄迫の奴隷にされてしまう場面が多すぎる。解放されて人間らしく生きたいと願う人々は少なくありません。

いやおうなしに、高齢化していく社会を、意味のない言い訳や逃避、休暇や快樂などの方法で“復活させようとする望み”は売るほどあるが、中々結果が見えませんが、むしろ日常に疲れた顔や孤独な寂しい顔の人々が増えてくる。お祭りや週末の休みに

飽きた人が増えています。

深い休みや静けさの必要を感じます。本当の回心をもって、憎しみや妬み、傲慢さや派手なファッションなどから解放されて、自由になって、許しの心を抱きしめ、キリストがわざわざ我々にもたらしてくださった救いの喜びと楽しみを、積極的に味わって進みたいと思います。

四旬節とキリスト者

キリスト者にとって、四旬節は完全に、刷新させる深い変化の時期である。無駄に過ごすことは禁じられている。

四旬節は細かく軽くちいさい罪を調べるのではなく、根本的な姿勢や生き方を調べ、整理し、本当の価値ある豊かな生き方を、喜びと楽しみの中にキリストと一緒に前進し歩むことが大切です。

具体的に、四旬節は憎しみや妬み、傲慢や競争心の壁を壊して、許す心や憐れむ心、認め合う心や励まし合う心を自分の“聖なる財産”とし、“からっぽ”になって“豊かな人間”になるための時期であります。

自分が変わるように働くよりも、素直に神に向かつて、自分を変えていただくように願いまししょう。

謙虚な心で、マリア様みたいに「はい」又は「神よ、私を変えてください！」と言えば、神はわたしたちを変えてくださいます。

四旬節の神秘を、典礼をもって述べ伝える

四旬節の典礼は、真剣に憐れむ神との温かい出会いであります。

それ故、正直に自分の全ての問題、苦しみや心配、希望と望み、霊的に前進したい心とそれを妨げる事など、ありのままに打ち明けて話し合うための「カイロス」、「恵みの時」であります。

聖パウロが叫ぶ「さあ、今こそ恵みをいただく時、今こそお救いの時」(二コリント 6, 2)

日曜日ごとの御言葉、更に毎日の御言葉を通して、四旬節の間に神は私たちを「自由なキリスト者」にしてくださる。
(四旬節の“神の言葉”は、典礼的によ

く選ばれた言葉であります)

各年の四旬節は“一歩づつ前進して成長させる”ための恵みの時であります。

四旬節は私たちの救いの道筋であります。キリスト者は、救いの歴史の様々な段階を通して、生かされ完成するのである。様々な段階を四旬節の典礼は次の通りに分けている。

四旬節第一主日：創造の業と人間の墮落のために世界が破壊された出来事。

第二主日：イスラエル民族の父祖の歴史。

第三主日：出エジプトの出来事。

第四主日：ダビデ王の王性。

第五主日：預言者たちの出来事。

御言葉は色々な教えや戒めを伝えるよりも、行動すべきことを伝えるのです。

神は信仰生活や契約、真の自由や命を深めさせるように呼びかけられる。

今年の典礼はC年の典礼です。

従いまして、C年の典礼の流れを元にして説明します。

四旬節C年の主日ごとのメッセージ「和解のカテケシス」

第一主日 イスラエルの民、又砂漠におられるキリストと同じく神を認め、神を知る事。

第二主日 「御変容されたイエス・キリスト」が私たちに実現される和解の神秘。

第三主日 神がイスラエルの民を開放するためにモーゼを派遣される。自由にされたイスラエルの民。

第四主日 父親から離れて、父親に戻る「放蕩息子」。

第五主日 許されて(福音)、新しく創造される。「行きなさい。罪を犯さないように」。

皆さん、これから意味ある四旬節を過ごすために、この巻頭言が皆さんの役に立てば私は満足です。

回心と刷新に恵まれた四旬節と喜びに溢れた御復活を皆さんが過ごすことが出来るように祈っております！

信徒連絡会 (議事録)

一月十三日 於大聖堂

〈竹内主任神父様のご挨拶とお祈り

今回から「信徒連絡会」としました。信徒全員に教会の動きを伝え、多くの方が教会に関心を持っていただけだと思います。

◎ 矢野教会委員長より

「信徒連絡会」はどなたでも参加できるように、大聖堂で開催いたします。

今年から、連絡会議長を安達さんに務めていただきます。安達さんには教会副委員長もお願いしました。

〔報告事項〕

◎ クリスマス・チャリティー・コンサート
(十二月九日)

恒例のエクレシア・アンサンブルとハレルヤコーラスのコンサートを行いました。献金は復興活動支援費とし、防寒具の購入などに使用いたします。

◎ 地区集会引継ぎ会 (十二月十二日)

新旧世話役の引継ぎを行いました。

◎ クリスマスマシサ

二十四日が振替休日だったため、例年より多いミサ参加者がありました(特に十七時ミサ)。座席を少しずつ前へ詰め、後方の立ちスペースを広げ、聖歌隊は二階で歌いました。洗礼は、十七時に一名、二十五日の十時に五名でした。

◎ 新年ミサ (一月一日 ○時、十時)

十時ミサ後に教会新年会を開催し、約七十名が参加しました。

◎ 金新司祭叙階式 (一月八日 韓国にて)

竹内神父様はじめ六名のフランシスコ会司祭と、当教会から二十名の信徒が参列しました。二月三十一時ミサで初ミサを捧げていただきます。祈りの花束と記念品をお贈りします。皆さまのご参列をお願いします。

〔今後の行事予定〕

◎ 成人式 (一月十三日)

十一時ミサとその後の祝賀会で新成人のお祝いを行います。対象は十四名で、五名の参加申し込み

みがあります。

◎もちつき大会（一月二十日）

九時ミサ後から十一時半ころまでホールにて行います。青少年中心ですが、一般の参加も歓迎します。

◎田園調布地区諸教会合同祈祷会（一月二

十七日 十四時三十分）

今年は当教会で行います。

◎四旬節黙想会（三月三日 十時から）

当日は九時ミサがありません。指導司祭は未定です。

◎信徒総会（三月十七日 十一時から）

当日は、九時ミサと十一時ミサを十時ミサの一回に統合し、ミサ後十一時から総会を行います。

〔検討・審議事項〕

◎バザー報告

収益は、パイプオルガン修繕維持、福祉目的の寄付（東日本震災ともしび会・桜の聖母里親制度）、大聖堂大規模修繕積立に配分しました。

◎今年度の取り組み（矢野委員長より）

① 信仰年として、「信仰を確かめる、深める、伝

える」を実施していきます。

② 信徒全員で取り組む。自分のためだけでなく、周りの人のために、ひとりひとりが教会で何が

できるか、各会で実施しているボランティア活動などに参加を促していくことで当教会を活性化していきたいと思えます。

③ 情報の共有化。「教会が何を考えているかわからない」という声があります。情報をより多

く発信するため、ホームページ、「田園」、おしらせを復活祭に向けて充実させていきたいと考えています。

④ 教会維持費の納付について。昨年は冷暖房設

備を導入しました。大聖堂建築から約六十年経ち、メンテナンスが必要です。それらの費用を確保していきたいと思えます。

◎今年度の行事予定

先月の連絡会時に配布した資料から、次の日程が変更になりました。四旬節黙想会（三月三日）、敬老会（九月二十九日 夏の暑さを避けるため、九月の最終日曜日としました）、バザーのリセール（十二月一日）、待降節黙想会（十二月十五日）。

◎青年会より

十二月二十四日 二十時ミサ後に、ココアサー

ビスを行いました。いただいた献金は復興支援に寄付しました。

◎レジオ・マリエより

二月十日に東京レジオの集会を当教会で行います。

◎聖体讃美式について

毎週木曜日十七時三十分からクララ聖堂で聖体讃美式を行っています。三十分くらいですので、信仰年の一環としてご参加ください。

◎青年会とヨゼフ会の懇親会

一月二十七日 十一時ミサ後に青年会とヨゼフ会の新年会を兼ねた懇親会を行います。

◎次回は二月十日十時に開催します。

初金懇話会

3月1日（金）

10:00 ミサクララ聖堂
11:00 講話・坂井啓児氏
12:00 昼食会500円
当日申込可
301・302

福音宣教委員会

ガーナ通信 ④ 最終回

舟橋倫子

ガーナで障害のある子供達のためのトレーニングセンターを主催されているシスター・エリザベスは、DVによって両手に深刻なダメージを受けてしまった男の子を腕に抱いていました。彼は家庭内で叔母から両腕にガソリンをかけられて火をつけられてしまったのです。その手は奇しくもガーナで黄熱病に倒れた野口英世にそっくりでした。病院での治療によって少しでも機能が回復することを、祈らずにはいられません。

シスターは、私たちに子供と女性をめぐる様々な問題を話してくれました。障害のある子供達のために何よりも必要なのは、教育と職業訓練によって、彼らが自立できるようにすることです。残念ながら、家庭の中では彼らは「お荷物」とされてしまいます。そこでシスター達は、教育と訓練によって彼らがちゃんと役に立てる存在になれることを訴えます。もちろん、例え彼らが何一つできなくても、存在するだけで健常者と何一つかわらな

い、かけがえのない存在です。特に母親にとって、子供が病気であることはどんなにか辛いことでしょうか。腕に子供を抱いて、猛暑のなかで悪路を何時間も歩いて治療のためにセンターに通うのです。しかしながら、その母親の思いが家族の同意と支えを得られるとは限りません。家族を説得するために、あえてこの子供も「役に立つようになる」というような言い方をしなければならぬのだとシスターは説明してくれました。

子供が障害を持つ原因の一つに、深刻な糖尿病があります。糖尿病なんて、食べ過ぎの贅沢病？と不思議に思われる方も多いでしょう。しかし、ここにガーナ特有の問題があります。近年の急速な経済発展のおかげで、飢え死にという状況は殆どなくなりました。しかし、人々は、糖・油・デンプンといった簡単に安価に手に入る食べ物を大量に取るようになってしまったのです。ガーナでは衛生上の問題もあって「油であげる」という料理法が一般的です。その結果、障害を招くほどの深刻な糖尿病が激増する深刻な事態を引き

起こしてしまったのです。シスターはこの状況を好転させるには、女性の教育が重要な鍵となると考えています。正しい栄養と病気の知識を台所と育児を担う彼女たちが身につけることが必要なのです。

様々な角度から子供の問題を捉えて積極的に活動する、このトレーニングセンターの財政は、その三分の一を全世界からの寄付によって支えられています。「まだまだ色々なことをしたいのだけれど、お金が足りない！是非、この現状を日本の方達に伝えてほしい。」シスターは、そう私に託されました。

どうか、皆様が少しでもお心にとめて下さることをお願いします。

シスター・エリザベスのメールアドレスは、Nsawam15@yahoo.com、トレーニンングセンターのホームページは、www.otcghana.infoです。また、このトレーニングセンターへの寄付は、Ghana Commercial Bank Nsawam, Ghana 口座番号 2161130000911まで、どうかよろしく願います。今回でガーナ通信は最終回です。長らくおつきあい頂きましてありがとうございます。

おめでとうございます

きむどんひょん

金東炫司祭誕生



2013・1・8 於：韓国・水原市カテドラル



司教より祝福の祈りを受ける。

フランシスコ会の韓国五人の兄弟とともに、
アントニオ・キムさんが晴れて司祭に叙階
された。



竹内主任司祭から授手を受けるキムさん。(右から二人目)

アントニオ金 きむ どんひょん 東炫さんの

司祭叙階式に列席して

一月八日に韓国・水原カテドラル（司教座聖堂）で行われるキムさんの叙階式に出席するために、竹内神父様を団長に、阿部神父様、ザベリオ神父様、伊能神父様と信徒二〇名で、韓国に行つてまいりました。

式当日（八日）は、朝マイナス7℃、日中0℃の寒さでしたが、大聖堂の中は、想像に反して、暖かでした。

大聖堂の祭壇は、大きな木彫りの十二使徒の像に囲まれ、聖堂のドーム型の天井には、アンデレ キム神父と百三人の殉教者が描かれており、独特の雰囲気がありました。

式は午後三時から、スウォン教区の司教司式の下、聖歌隊の素晴らしい歌声に包まれ、厳粛且つ荘厳な雰囲気の中、約二時間半行われました。

一人の助祭と六人の司祭の叙階式でした。大聖堂には、約二千人の人が集まり、また、百人の神父様達が列席されていました。日本からは、長谷川潤管区長、小西神父様が加わり六人の神父様が参加されました。

式の最後に、新司祭から、司教、司祭団が叙階後の最初の祝福を受ける場面がありました。が、こういうことは、なかなか無いので、阿部神父様も感激したとおっしゃっていました。

やはり、文化の違いが感じられる場面でした。

式終了後、ご家族の方が、前に出て紹介され、列席者の皆様から盛大な拍手をいただいて、キムさんのお母様も大変お喜びの様子でした。

式の後、キム新司祭から、二十人全員祝福をしていただきました。

叙階後すぐに新司祭から受ける祝福（按手）は、教皇様にしていただくのと同じ価値があるようで、皆、感激もひとしおでした。

今回、素晴らしい叙階式に参列でき、な

キリストがあなたを照り輝かせます。
エフエソ 5-14



キムさんが作られたカード

かなかあずかる事のできない祝福をいただけるような、貴重な体験ができました事につくづく感謝の気持ちでいっぱいになりました。 神に感謝。

キムさん、司祭叙階おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

召命委員会 鈴木まり子

早春譜

多摩川地区 小林シゲ



名ある芽も名なき芽もみな背くらべ

土手では先ず土筆・蓬が芽を出しん名前の解らない草も
ひと雨ごとにぐんぐん伸びてまるで背くらべをしている
ように感じられ、眼を楽しませてもらいました。

盆梅の蕾小豆の粒ほどに

いつの間にか小豆の粒ほどにふくらんだ蕾に、春だ春だと
よびかけておりました。

下萌ゆる堤日裏も日表も

土手では日のあたる所も日蔭も総て、やわらかき緑色と
なつてそれはそれは爽やかに感じられ平等は春の生命を称
えました。

(今月号から小林シゲさんの四季折々を詠った俳句を掲載します。)

信者動静

2012・12・10-2013・1・12

その後の洗礼 (おめでとうございます)

- | | |
|-------|-------------|
| 坂本純太 | ヨセフ |
| 瀬戸カツ子 | 幼きイエスのテレジア |
| 古屋彩芽 | ベルナデッタ |
| 宮田健太朗 | ヨハネ フランシスコ |
| 吉田梨音 | 小さき花のテレジア |
| 若林陽子 | マリア・アヌンチアータ |

その後の転出 (お元気で)

- | | |
|-----|------------|
| 中村良 | 東京教区上野毛教会へ |
|-----|------------|

その後の帰天 (お祈りします)

- | | |
|------|------------|
| 田尻光子 | マリア・パウラ |
| 平岡一彦 | アシジのフランシスコ |
| 馬嶋満 | マルコ |

以上

ミサ時間

- | | |
|--------------|-------|
| 平日 | 7:00 |
| 土曜日 | 19:00 |
| 主日 | 7:30 |
| | 9:00 |
| (子どもと
共に) | |
| | 11:00 |

